



125 の意思決定者、 1 つの共通の目標：第 4 回政府企業間（G2B）会議からの反省

2019 年 10 月 1 日火曜日



ニースでの GFSI 会議の直前に開催された第 4 回年次 GFSI 政府企業間（G2B）会議には、記録的な数の参加者が集まりました。125 のリーダーと意思決定者、29 の政府機関、38 の政府系機関と 10 の政府間組織が参加しました。2016 年のベルリンでの最初に会議が開催されて以来、この会議は政府が非公式かつ、同等な状況で、業界と関わるためのユニークなプラットフォームを提供してきました。

本日、GFSI エキスパートシリーズで、GFSI 理事の議長であるマイク・ロバック氏と、G2B 組織委員会の 2 人のメンバーであるカナダ食品検査局のマーク・バーガム氏とオランダ食品および消費者製品安全局のハンス・ベガー氏に GFSI のアン・ジェラルディがお話を伺います。彼らは会議が時間とともにどのように進化したかを説明し、将来どのように成長し続けるかを予測します。GFSI Youtube で 彼らのディスカッション をご覧いただくか、以下のトランスクリプトをお読みください。

<https://youtu.be/lpyqHyPzEhM>

アン： 自己紹介と GFSI での役割を教えてくださいませんか？

マイク・ロバック氏： 私はマイク・ロバック氏であり、私はグローバルフードセーフティイニシアチブの議長です。

マーク・バーガム氏： 私の名前はマーク・バーガムです。私はカナダ食品検査局にいます。私の役割は、4 年前にこのプロジェクトを開始したベルリン以来、GFSI の組織委員会と協力することでした。この異なるタイプのフォーラムに規制当局の視点をもたらすことです。

ハンス・ベガー氏： こんにちは。私はオランダ食品および消費者製品安全局のハンス・ベガーです。私はオランダの食品安全の上級顧問です。私は長い間 GFSI コミュニティを楽しんでいます。

アン：政府企業間（G2B）会議について教えてください。

マイク：G2Bは政府と企業の略です。これは3年前にベルリンで始まったものです。世界中の食品安全を推進するための共通の機会について話し合うことができるように、GFSIの企業を世界中の規制当局の輪に入れようとした。

ハンス：オランダとカナダ当局は、公的な監督として、民間の認証スキームを活用することに長い共通の歴史を持っています。2016年、私たちは、より多くの国がこのポリシーに関与できるかどうかを確認するアイデアを得ました。私たちはGFSIに出会い、すぐにG2G会議の開催と促進に非常に興奮しました。



アン：過去数ヶ月間、組織委員会の役割は何でしたか？その委員会のメンバーは誰でしたか？

マーク：その委員会については、さまざまな視点がありました。IICA、コーデックス、多数の規制当局、そしてもちろんGFSIの組織委員会もありました。ワークショップでの会話を深め、視野を広げるために、今年使用するアプローチを具体化するのに役立つユニークな視点を集めました。そして、それらのワークショップを通して、私たちはさまざまな視点を持つことができました。29か国の当局、10か国の政府間組織がありました。彼らは全員非常に深く有意義な方法で参加しました。

アン：なぜこの会議で政府機関と一緒にビジネス業界の方々が一緒に参加することが重要なのですか？

ハンス：政府にとって安全な設定としてG2G会議を開催するのは良いことですが、官民パートナーシップでは、民間部門と政府部門の間のつながりが必要です。したがって、G2Gミーティングを開催することは論理的なステップであり、その上にG2Bミーティングがあります。私たちは、政府がすでに座っているテーブルの周りの業界に、より多くの相互作用を持ち、情報交換について、おそらく別のレベルで議論することを勧めます。政府の責任は何ですか？民間部門の責任は何ですか？オーバーラップはどこですか？協力とパートナーシップのためには、情報を交換する必要があります。どのような種類の情報ですか？そして、それは私たちが一步を踏み出さなければならぬ場所です。したがって、G2Bミーティングはこれらの問題について話すのに最適な環境だと思います。



アン：なぜこのプラットフォームはとてもユニークなのでしょう？

マイク：会議の冒頭で、これは単独ではできないと言いました。民間部門もそれを単独で行うことはできず、政府もそれを単独で行うことはできません。私たちは離れて仕事をするよりも、一緒に仕事をする方がずっと効果的だという認識があります。

マーク：規制当局と業界および政府間組織をまとめる唯一の非公式の機会であるため、非常にユニークです。その間、ベルリン以来、私たちは進化してきました。私たちは、正直な会話が起これると思う場所での関係を成熟させました。私たちは、年を追うごとに理解のレベルが上がるという点でそれを見てきました。STDF プロジェクトの提案など、意味のある成果があったと思います。また、コーデックスガイダンスを進めてきた急速なペースについても考えています。私たちがそうしなかったと思うよりもずっと速く移動しました。

ハンス：トップダウンではなく、パートナーシップという言葉を強調したいと思います。そうではなく、それは、責任、役割、タスクだけでなく、相乗効果も重要です。自主規制と民間部門との相乗効果、および政府の責任を探しています。G2Bはそのための素晴らしいプラットフォームだと思います。GFSI の理事会は常に「政府が最初の一步を踏み出し、次の一步を踏み出すためにどのように支援できるのか」と問いかけています。

アン：この会議の第 4 回目の会議の特別な点は何ですか？

マイク：4 年目は特別な年でした。なぜなら、私たちは、記録的な数の政府と政府間組織が出席していたからです。また、プログラムの作成方法にも変更がありました。以前は、さまざまな関係者からのプレゼンテーション、講義が主でした。今年はグループをワークショップに分けました。そのため、実際に取り組みを開始し、袖をまくり、キャパシティビルディング、データ共有、および透明性の分野で作業を完了させました。

ハンス：そうですね、変わりましたね。最初の 3 年間は、ほぼ安全なレベルにあったと思います。政府が官民の協力と政府が民間認証をどのように利用できるかについてより多くの知識を得るためにテーブルを回してもらおう。しかし、今年は大きな一步を踏み出しました。私たちは、情報交換についてだけでなく、グローバルマーケットプログラムについて、また発展途上国がこれらの開発に参加し、民間部門の成長と自主規制から利益を得る方法について、真に良い議論を行いました。

アン：今年の会議は、ステークホルダーとの具体的なプロジェクトにつながりますか？

マーク：今年が最高だったことは間違いありません。ワークショップで行った議論から、いくつかの有意義な結果が得られました。データ共有と透明性については、GFSI と認定プログラムの所有者と協力してさらに深く掘り下げ、その会話をさらに深める作業グループの起源を手に入れました。キャパシティビルディングについては、STDF とのプロジェクト提案を開始し、実用的な何かを得るために、多くの開発途上国（IICA、COMESA）と協力しています。私たちは、発展途上国が地域ベースでどのように取得し、認証の快適さのレベルを理解し、向上させるかを検討しています。



アン： GFSI 会議と並行してこれらの会議を開催することの意義は何ですか？

ハンス：安全な環境で G2G 会議を開催し、G2B 会議で業界との会議を開催するという完璧な組み合わせですが、GFSI コミュニティの一部でもあります。非公式な方法で、情報を交換したり、世界中の同僚、専門家などと会ったりすることができます。これは、民間部門で何が起きているかを見る絶好の機会かもしれません。すべての人々に安全な食べ物を：もしあなたがそれに関して心配していたなら、私たちはすべて同じ目標を持っていると感ずることができるでしょう。

##



官民パートナーシップのための GFSI のプラットフォームの詳細については、アルゼンチンの農業産業省（MINAGRO）との以前のエピソード、および Codex Alimentarius の代表者との 3つのエピソードをご覧ください。 [Twitter](#)、[Facebook](#)、または [LinkedIn](#) で #GFSIexperts をフォローし、 [GFSI News](#) を購読して、エピソードを見逃さないようにしてください！

[GFSI エキスパートシリーズとは何ですか？](#)